

～心豊かなひととき～

12期 生演奏で楽しむ科

日時： 令和6年10月11日

場所： ナムの広場(池田市)

学習テーマ： オペラの魅力③ ミュージカルって何？

講師： 清原邦仁先生(大阪音楽大楽講師)

ピアノ 岩本実姫先生(大阪音楽大学演奏員)

内容

・オペラとミュージカルの違い マイクを使うかどうかの区別ではなく、作曲家がオペラかミュージカルかを判断する。

・ミュージカルの歴史

現代ミュージカルの最初の作品は1927年ジェームス・カーン作曲「ショウポート」である。

それ以前にはオペレッタ、レビュー、ボードヴィルなどがオペラより気軽に鑑賞できるジャンルがあったが、それから発展してミュージカルとなった。

9年世界大恐慌の影響で世の中が暗くなったが、ミュージカルが風刺劇を提供し、荒唐無稽なストーリーではあったが、大ヒットした。

ミュージカルはヨーロッパ、アメリカ(ブロードウェイ)でそれぞれ発展したが、形態に違いがある。

アメリカではせりふから歌へ、踊りへと高まるが、ヨーロッパではせりふよりも音楽ですべてを表現する傾向がある。

その後、1943年の「オクラホマ」をかわぎりに「回転木馬」「南太平洋」「王様と私」「ウェストサイド・ストーリー」

「サウンド・オブ・ミュージック」などの名作が続々と生まれた。

さらに電子楽器、シンセサイザーが生まれ従来の楽器ではできなかった表現が可能になり、「レ・ミゼラブル」「オペラ座の怪人」などで取り入れられた。

またディズニー映画にも登場し、さらにはオリジナルのミュージカル映画も生まれた。日本でも劇団「四季」など大盛況となった。

・先生の歌唱

「ウェストサイド・ストーリー」より〈マリア〉

「レ・ミゼラブル」より〈独白〉

「美女と野獣」より〈愛せぬならば〉

「モーツァルト」より〈僕こそ音楽〉

・まとめ

ミュージカルは時代に応じて分かりやすく楽しめるように進化してきた。

オペラは手のこんだ料理のようで、後から味が出てくる。

両者は楽しみ方が違うだけと言われた。

・感想

私はミュージカルは表現力やドラマティックさがオペラよりやや軽いと思
っていたが、先生の歌唱をお聴きするとそんなことは
一切なく激しく表現できることが分かった。

【広報担当 M.I】

